

アドミッション・ポリシー 『入学受入れの方針』

リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科

リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科ではディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、入学試験では、学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を中心に論理的思考・表現への意欲、他者と協働し課題を解決する意思や意欲、公共性と倫理性及び社会貢献への意欲も評価の対象として多様な入学選抜方式にて公正な選考を実施している。そのためのリベラルアーツ学部リベラルアーツ学科のアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

〈教養力養成のためのレディネス〉

I 自身が関わる多様な社会や文化に関心を持ち、さまざまな視点から社会の課題を考え、その解決に取り組むための知識や技能の獲得に意欲を持っていること

〈専門力養成のためのレディネス〉

II 高等学校等での教育課程を修得し、リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科での学びに必要な基礎学力を有していること

〈論理的思考・表現への意欲〉

III 自分の考え、思いを適切にまとめ、表現する力を育む素養があること

〈他者と協働し、課題を解決する意思・意欲〉

IV 多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

〈公共性と倫理性、社会貢献への意欲〉

V 社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること

総合心理学部 総合心理学科

総合心理学部総合心理学科ではディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、入学試験では、学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を中心に論理的思考・表現への意欲、他者と協働し課題を解決する意思や意欲、公共性と倫理性及び社会貢献への意欲も評価の対象として多様な入学選抜方式にて公正な選考を実施している。そのための総合心理学部総合心理学科のアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

〈教養力養成のためのレディネス〉

I 自身が関わる多様な社会や文化に関心を持ち、さまざまな視点から社会の課題を考え、その解決に取り組むための知識や技能の獲得に意欲を持っていること

〈専門力養成のためのレディネス〉

II 高等学校等での教育課程を修得し、総合心理学部総合心理学科での学びに必要な基礎学力を有していること。基礎学力として、英語、国語および数値処理の知識を有していること

〈論理的思考・表現への意欲〉

III 自分の考え、思いを適切にまとめ、表現する力を育む素養があること

〈他者と協働し、課題を解決する意思・意欲〉

IV 多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

〈公共性と倫理性、社会貢献への意欲〉

V 社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること

食環境学部 食イノベーション学科

食環境学部食イノベーション学科ではディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、入学試験では、学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を中心に論理的思考・表現への意欲、他者と協働し課題を解決する意思や意欲、公共性と倫理性及び社会貢献への意欲も評価の対象として多様な入学選抜方式にて公正な選考を実施している。そのためのアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

〈教養力養成のためのレディネス〉

I 自身が関わる多様な社会や文化に関心を持ち、さまざまな視点から社会の課題を考え、その解決に取り組むための知識や技能の獲得に意欲を持っていること

〈専門力養成のためのレディネス〉

II ・食と栄養に関する幅広い知識修得に必要な基礎学力として、国語、英語、生物および化学の知識を有していること
・食産業における課題解決に興味を持ち、フードビジネス分野やフードテック分野およびスポーツウェルネス分野等を学び続ける意欲を持っていること

〈論理的思考・表現への意欲〉

III 自分の考え、思いを適切にまとめ、表現する力を育む素養があること

〈他者と協働し、課題を解決する意思・意欲〉

IV 多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

〈公共性と倫理性、社会貢献への意欲〉

V 社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること

食環境学部 管理栄養学科

食環境学部管理栄養学科ではディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、入学試験では、学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を中心に論理的思考・表現への意欲、他者と協働し課題を解決する意思や意欲、公共性と倫理性及び社会貢献への意欲も評価の対象として多様な入学選抜方式にて公正な選考を実施している。そのためのアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

〈教養力養成のためのレディネス〉

I 自身が関わる多様な社会や文化に関心を持ち、さまざまな視点から社会の課題を考え、その解決に取り組むための知識や技能の獲得に意欲を持っていること

〈専門力養成のためのレディネス〉

II ・食と栄養に関する幅広い知識修得に必要な基礎学力として、国語、英語、生物および化学の知識を有していること
・健康管理に果たす現代生活の「食」のありかたを科学的に追求し実践することに興味を持ち、質の高い管理栄養士となるために学び続ける意欲を持っていること

〈論理的思考・表現への意欲〉

III 自分の考え、思いを適切にまとめ、表現する力を育む素養があること

〈他者と協働し、課題を解決する意思・意欲〉

IV 多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

〈公共性と倫理性、社会貢献への意欲〉

V 社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること